大垣北高校が文部科学省の

N-E.X.Tハイスクール構想

における改革先導拠点として**採択**されました

NEXTハイスクール構想とは？

2040年頃の少子高齢化やAI・デジタル化の進展に対応するため、文部科学省が掲げる高校教育改革のグランドデザインです。地域や学校の特性に応じて設定された3つの類型があり、大垣北高校は類型２の「理数系人材育成支援」に取り組んでいきます。

目指す姿

文理の枠を超え、幅広い教養と高度な理数系の素養を備え、
次世代産業や社会課題に挑戦し続ける人

どんな学びになるか？

最先端の研究者や企業と学び、**理数系進学の動機**を見つける

教育改革

① 大学・企業との共創講座
東京大学やオックスフォード大学、企業やスタートアップと連携し、最先端の研究や技術を学びます。年間約20講座の実施を予定しています。

② AIエージェント実装型カリキュラム
探究活動の時間を充実させ、生徒全員がAIアプリやAIエージェントの企画・開発に挑戦します。利用者の意見を取り入れながら改良し、発表まで行います。

③ 探究コモンズ・サイエンスラボの整備
最新の実験機器やICT環境を備えた学習空間を整備し、議論・実験・発表を一体的に行える環境を構築します。

④ 地域に開かれた探究拠点へ
高校生だけでなく、小中学生や大学生、地域企業とも連携し、地域の理数探究活動の拠点として活用します。

高校生の未来の姿

・AIアプリ実装率　５０％（R10）　→　１００％（R13）
・文系選択者の数理情報科目講座受講率　５０％（R10）　→　７５％（R13）